

ノビル (野蒜)

名前の意味^{いみ}：野原に生える「ひる」の意味。「ひる」とは、ニンニクのこと。

分類：単子葉類、ユリ科、ネギ属

(ユリ科の栽培植物^{さいばいしょくぶつ}：アスパラガス、ネギ、タマネギ、ニラ、チューリップ)

好きな場所：日当たりのよい土手^{どて}

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生^{じせい})

特徴^{くた}：管になる水気の多い葉、白い玉のような球根^{きゅうこん}、小さなねぎ坊主^{ぼうず}のような花序^{かじょ} (花のあつまり)。

種子の運ばれかた：そのまま落ちる

花弁の数^{りべん}：離弁^{れつ}、6裂

花の時期：5 - 6月

食べ方：球根は、酢味噌^{すみそあ}和えにして食べる

見分け方：ツルボは、葉が平たくて2枚、花は穂^ほの形につき、ピンク色。

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★

総合難易度^{そうごうなんいど} ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)